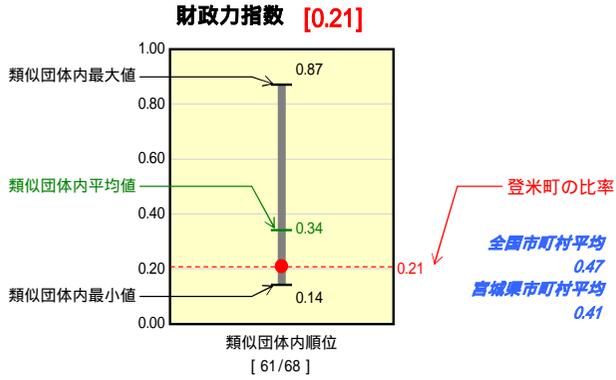


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

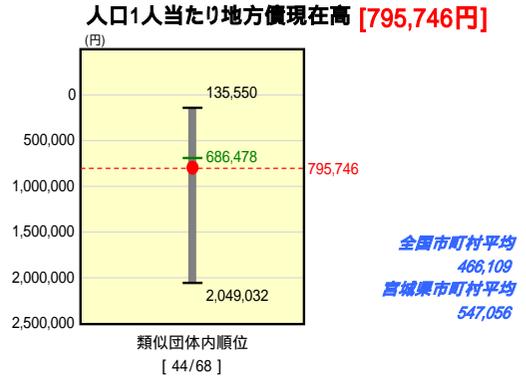
宮城県 登米町

人口	5,874 人(H17.3.31現在)
面積	45.67 km ²
歳入総額	3,423,546 千円
歳出総額	3,452,852 千円
実質収支	-29,306 千円

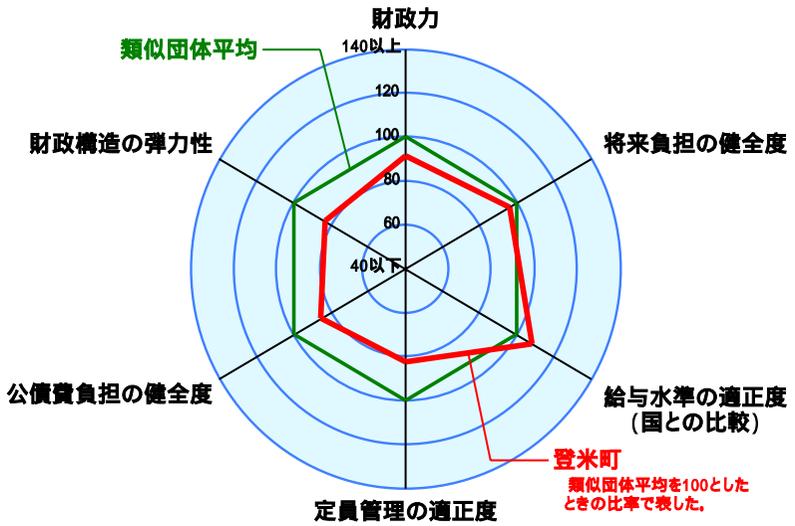
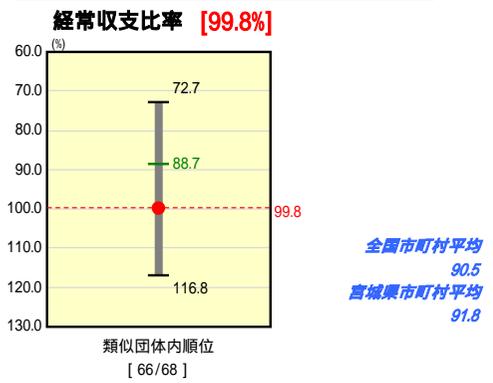
財政力



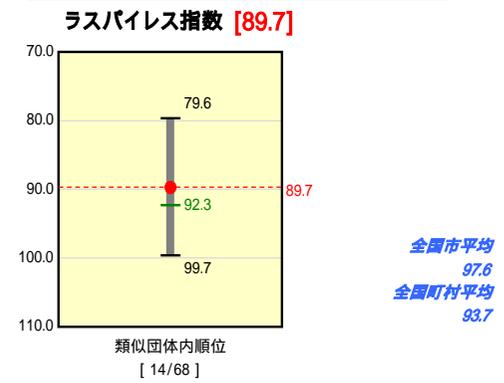
将来負担の健全度



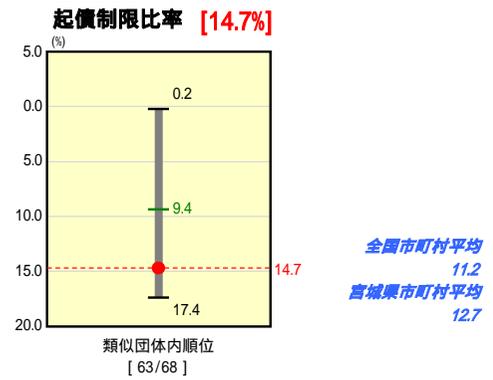
財政構造の弾力性



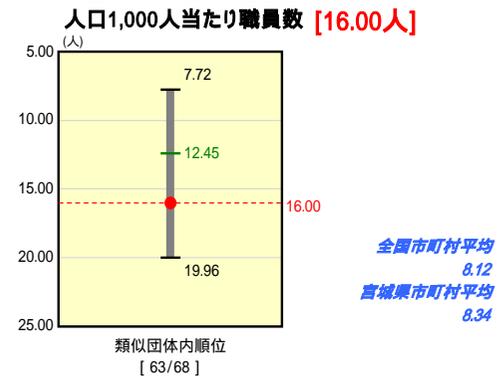
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数
 ・人口の減少や高齢化に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、宮城県平均、全国平均を大幅に下回っており、類似団体の中でも最低(68団体の61位)の水準に位置している。

経常収支比率
 ・平成17年4月1日合併に伴う打ち切り決算により、本来出納整理期間中に収入すべき地方譲与税等が新市の歳入になったことで前年度から5.8ポイント上昇し、宮城県平均、全国平均を大幅に上回っており、類似団体の中でも最低の水準のトップ(68団体の66位)に位置している。

起債制限比率
 ・宮城団体の競技施設整備にかかる償還が現在ピークとなっており、財政の計画的運営によって、一般単独事業に係る起債については発行を抑制し平成18年度以降は減少に転ずる見込みであるが、宮城県平均、全国平均を上回り、類似団体平均を上回っている(68団体の63位)。

人口1人当たり地方債現在高
 ・団体の競技施設整備以降は起債発行の抑制を行い、類似団体の中間水準に位置しているが、宮城県平均、全国平均を上回っている(68団体の44位)。

ラスパイレス指数
 ・89.7ポイントであり、全国平均より下回っている、国の水準が100とした場合で10ポイント以上下回って(68団体の14位)いる、旧来から平均を越えることはない。

人口1,000人当たり職員数
 ・16.00人であり、全国平均、宮城県平均、類似団体平均を上回って(68団体の63位)いる、人口の減少が原因であるが、行政需要に対応しながらより適切な定員管理に努める、なお合併団体のため、職員数は平成17年3月31日現在職員数となっている。

平成17年4月1日、合併により「登米市」となる